

第4章 燃焼器用ホースの維持管理

4.1 維持管理の意義と目的

燃焼器用ホースは、移動式・固定式のガス器具に使用ができ、屋内、屋外およびGHP等のガス器具にも使用できる。

末端ガス栓とガス器具とを接続できる低圧用の接続ホースです。

環境、設置等使用条件による程度の差はあるが、経年による劣化は避けられない。

燃焼器用ホースの維持管理は、安全確保の見地からも極めて重要である。そのため、この維持管理基準を遵守し、燃焼器用ホースの正常な機能を確保することにより、LPガスの消費の安全確保に寄与することを目的とする。

4.2 燃焼器用ホースの設置上の注意

(1) 燃焼器用ホースの設置上の注意

- イ 燃焼器用ホースのねじ接続は、液化石油ガス設備士自らが取付け、取外しを行うこと。
- ロ 燃焼器用ホースは、ガス器具の種類、消費量に適しているものかどうかを確認すること。
- ハ ガス器具を交換する場合は、燃焼器用ホースは新しいものと交換すること。
- ニ 燃焼器用ホースにねじれ、引張力等が発生しないようにすること。
- ホ 管用テーパねじ接続の場合は、ねじ部に耐LPガス性の不乾性シール剤を使用してねじ込むこと。ただし、シール剤が内部に入らないように注意すること。
- ヘ 燃焼器用ホースを新たに設置したときは、検知液、石鹼水等を用いて、ガス漏れのないことを確認すること。
- ト 燃焼器用ホースに異常な外力がかからないようにすること。
- チ ひび割れ、劣化した燃焼器用ホースは取替えること。
- リ 燃焼器用ホースは製造後7年経過したものは性能低下が予測されるので交換すること。
- ヌ TUねじにはシール剤を使用しないこと。
- ル 燃焼器用ホースは、表7の最小曲げ半径以下にならないようにすること。

表7 燃焼器用ホースの最小曲げ半径

呼び	曲げ半径(mm)
7	45
10	70
14	90
20	120
25	150

(2) 屋外設置をする場合

- イ 燃焼器用ホースは、屋根等の雪、その他の落下物により損傷を受けるおそれのない場所に設置すること。
- ロ 燃焼器用ホースを海岸等の近辺に設置する場合は、塩害等による腐食防止対策を講じること。
- ハ 両端及び片端迅速継手付（大口径迅速継手付を含む）の燃焼器用ホースは、屋外設置をしないこと。

(3) 屋内設置をする場合

- イ 燃焼器用ホースを設置する場合は、ガス器具等の輻射熱の影響を受けないように設置すること。
- ロ 燃焼器用ホースは、落下物により損傷を受ける場所に設置しないこと。
- ハ 迅速継手付燃焼器用ホースは、必ず迅速継手のサイズを確認すること。
- ニ 燃焼器用ホースは、冷蔵庫の裏側等見えない場所での使用は避けること。
- ホ 油脂、洗剤等が付着する所は避けること。

4.3 燃焼器用ホースの保管

- イ 製造年月を確認し、古いものが下積みにならないようにすること。
- ロ 直射日光を避け、風通しの良い、湿気の少ない屋内に保管すること。
- ハ 燃焼器用ホースの継手金具には、キャップ等を施し、ねじ部などに水やゴミ等が浸入・付着しないよう注意すること。

4.4 燃焼器用ホースの取扱い

- イ メーカーが発行している取扱説明書をよく読んで取付けること。
- ロ 運搬、取扱いに際しては、落下、衝撃等を加えないこと。
- ハ 燃焼器用ホースは、分解、改造等を行わないこと。
- ニ 2 本以上接続して使用しないこと。

4.5 燃焼器用ホースの調査

- イ 自然災害等に被災した燃焼器用ホースは、新品と交換すること。
- ロ ガス漏れをしている燃焼器用ホースは、新品と交換すること。
- ハ 異常が発見された時は、ガスの使用を中止して、ガス販売事業者に直ちに連絡すること。

《異常現象とその措置》

異常現象		確認方法	異常程度・影響等	措置
1	燃焼器用ホース外面の磨耗、はがれ、亀裂及び切り傷のあるもの。	目視	ガス漏れの原因となる。	新品と交換
2	燃焼器用ホース外面が、燃焼器の輻射熱により変色しているもの。	目視	ガス漏れの原因となる。	新品と交換
3	燃焼器用ホースの締付部の亀裂、著しい軟化のあるもの。	目視、又は手で曲げて確認	亀裂部よりのガス漏れ、又軟化の著しいものは抜ける恐れがある。	新品と交換
4	継手金具のひび割れ、又は著しい変形のあるもの。	目視	腐食、時期割れ、衝撃等によって生じ、ゴムホースが切れている又は抜ける恐れがある。	新品と交換
5	「1」から「4」においてガス漏れを伴うもの。	漏えい検知液、石けん水等を塗布し確認	事故につながる可能性がある。	新品と交換
6	ねじ込み部が緩んでいるもの。	手で確認	ガス漏れの原因となる。	増し締めによって修理不可能な場合は、新品と交換
7	TUユニオン部に漏れがあるもの。	漏えい検知液、石けん水等を塗布し確認	事故につながる可能性がある。	パッキンを交換
8	継手金具の六角部が著しく変形しているもの。	目視	不適当な工具使用によって生じた場合が多く、接続が不完全になりガス漏れの原因となる。	新品と交換
9	燃焼器用ホースの取り付け姿勢の悪いもの。	目視	極端な曲げによるホースの亀裂、ホースのねじれによる接続の緩みによりガス漏れの原因になる。	曲げやねじれを直す。不適切なホース長さが原因している場合は適切なものに交換する。
10	交換期限を過ぎたもの。	継手金具の刻印(製造年月)で確認	製造後、7年以上経過したものは一見異常がないようでも、ゴムホースの老化が進んでいると考えられる。	新品と交換